

中尊寺・毛越寺(岩手県平泉町)
中尊寺



第1Pより金色堂を目指す





月見坂八幡堂の標柱がある



八幡堂の由来

やおよそその神々のなかで、八幡神は最も早く仏教にとけ込み、八幡大菩薩と尊崇されてまいりました。

祭神を応神天皇とする伝統的信仰から、皇室の祖神、国家の守護神として、ことに源氏の氏神として、八幡宮は諸国に造建され、広く信仰されてきました。

天喜五年(一〇五七)鎮守府將軍源頼義、義家、安倍氏追討のためこの地に至り、この月見坂を戦勝を祈願しました。いわゆる前九年の戦いです。かくて長い戦いを収め勝利の記念に京都石清水から迎えたのが鎌倉の八幡宮です(後それを頼朝が鶴岡に移建)

鎌倉時代「吾妻鏡」のなかに「中尊寺年中恒例の法会」として「八月放生会」と見えます。これは八月十五日の宇佐(九州)石清水、鶴岡など八幡宮における放生会の事例からも、当社八幡神前における法会厳修とみなされ、以って当山におけるその神威の主要なることがうかがわれます。

明治の神仏分離で、八幡堂と称し阿弥陀如来尊像も合祀庶人の熱心な御信仰をいただいております。

邦世記

別當 中尊寺塔中 別所坊

敬白







東物見から見る風景



弁慶堂の表示





由緒

この堂は通称辨慶堂という
文政九年の再建である

藤原時代五方鎮守のため火伏の
神として本尊勝軍地藏菩薩を
祀愛宕宮と称した傍に義経
公と辨慶の木像を安置す

辨慶像は文治五年四月高館
落城と共に主君のため最後まで
奮戦し衣川中の瀬に立往生悲
憤の姿なり更に宝物を陳列
国宝の磐及安宅の関勸進帳に
義経主従が背負った筈がある
代表的鎌倉彫である。







更に進む



地藏堂



薬師堂の表示





薬師堂縁起

この薬師堂は藤原清公が中尊寺境内に坐落す一室であつた。その旧跡は現在の跡にほゞなく、地に建ち上りてゐる。明暦三年（一六五七）に現在地に建立された。室内には慈覺大師像と板まゐれる。薬師如来が安置され、彫仏として日光菩薩、月光菩薩が安置されおられます。また薬師如来の分身または化身とも言われる十二神將の牌位も置かれてゐるのは中尊寺山内の薬師堂としては当堂しいであります。薬師如来は別名薬師瑠璃光如来とも称し、東方瑠璃光世界の教主であり、一切の衆生を救済する。また人間の寿命を延ばすも福徳を授けらるゝはたして御事。また薬師如来の十二の大願の中に、「一切の衆生を救化し除病安楽を成ず。難を救ゆる人阿耨菩提を成ず。また無明の宿病に對しては妙法の法華を授けしめ、病を癒し、おし、薬師の功徳を信仰する者に於て病苦の苦惱から免れ、病に侵しては運命の法に治する。また出衆の心や薬師如来の信仰者であります。天台宗の宗祖は慈覺大師最澄も御殿に刻されて御本尊といたしまして、このようにして薬師如来の信仰は平安時代から一般庶民の日常生活には欠くことの出衆ない御事とて崇められおます。阿彌陀如来は西方極樂浄土の世界にあり、果ての果報をお授けになるに對し、薬師如来は東方瑠璃光世界に住し、現世の人々に授けらるゝ公衆を御授け下さる。また、薬師如来の御心日光、月光菩薩は濁世の中、衆生を救済する。また、衆生を守護してゐる。また、薬師十神將は四季を通じて休むことなく衆生を信仰してゐる。また、薬師如来の御心には、平安の昔から中尊寺を中心として行われ、また、特に眼病の人々には首領信仰として、よく信仰され、この薬師如来あり、この御堂であつた。また、この御堂には、木花咲耶姬を祭神とてゐる。その由來は出雲や青児のたけの信仰で、神道では木花咲耶姬を祭神とてゐる。神仏習合で、子女觀音が祀られてゐる。私どもは現在、喧嘩と煩雜な世にあり、心身ともに不安な生活を送つておられます。災難、病苦から現れて、平安な平和な生活を営まねたらんば、幸福でありせしき。また、この世界こそ、御薬師様の願であらるゝ世界であり、また理想世界であります。

中尊寺瑠璃光院

観音堂



葉医門形式の本堂山門



正面が本堂







本堂

明治四十二年(一九〇九)の再建。中尊寺の山内十七カ院を包括する中心道場。奥州藤原氏の追善、天台宗各祖師の御影供、正月修正会など、一山の法要はほとんどがここで勤修される。また写経・坐禅の修行道場でもある。本尊は阿弥陀如来。壇の両脇には、延本山比叡山延暦寺より分灯された「不滅の法灯」が護持されている。

本堂 HONDO

CHISONJI TEMPLE MAIN HALL

Reconstructed in 1909 (Meiji period), the Main Hall is the central training hall of Chisonji Temple. Memorial services for the Fujiwara family, for high priests and for our ancestors, as well as prayers for peace are held here. This is also a training hall for learning hard practice of sutra and zen meditation. A statue of Amida Nyorai is the principal Buddha image. On each side of the image there is an "Eternal Light of Buddhism", it was transferred here from the head temple named "Srivajali Temple" on Mount Hiei.

中尊寺本堂

1909年(明治時代)再建の本堂は中尊寺の中心道場。藤原氏の追善、高僧の忌日、伊弉杵祖、祈禱和平等法事都在這裡舉行。此外這裡也是寫經・坐禪的修行道場。本尊是阿彌陀如來。在本尊兩側有「不滅的法燈」的護持。此燈是從延本山比叡山延曆寺分燈而來。

후손지 본당

1909년(메이지 시대)에 재건된 본당은 후손지의 중심 도량이다. 후지하라씨의 가업, 고승의 기일, 장조 공양, 평화 기원 등의 법회가 여기서 근무된다. 또 사경, 화신의 수행 도량이기도 하다. 본관은 아이치현아이미 본관의 양쪽에는 「불멸의 법등」을 호치하고 있다. 이것은 총명산 히에이진 엔리쿠지(比叡山延暦寺)에서 분등된 것이다.

境内から見た山門



鐘楼



庫裏であろうか



不動堂



峯薬師堂



峯薬師堂



峯薬師堂



大日堂





鐘樓



岩手県指定文化財

梵 鐘

康永二年（一三四三）に金色堂別当頼榮の発願により铸造された盤渉調の梵鐘。撞座は長い歳月にわたる打鐘で窪み、現在この鐘が撞かれることはない。鐘身の銘文には建武四年（一三三七）山上の堂塔が火災により焼失したと記し、奥州藤原氏以後の歴史を伝える資料としても貴重である。

径八六センチメートル

梵 鐘 BONSYO

TEMPLE BELL (Important Cultural Property of Iwate Prefecture)

This is a Banshikicho-style bell cast in 1343 on the initiative of Raiei, a priest of the Chusonji Koryuikido. The bell stand has become hollow after long years of striking, and thus the bell is no longer rung. The inscription on the bell says that the temple building on top of the mountain was burned down in 1337. This is also a valuable historical source for the period after the fall of the Oshu-Fujiwara family. Its diameter is 86 centimeters.

讚衡蔵(宝物館)



阿弥陀堂



弁財天堂



辨財天堂

本尊の辨財天十五童子は、宝永二年（一七〇五）、仙台藩主伊達綱村公三堂仙侶の寄進。殿堂宇は正徳六年（一七一六）に建立された。講堂蔵に収蔵される因宝（金光明最勝王経、金字宝塔曼荼羅圖）十帖は、もとは仙姫菩提の厨子に納められ、この堂内に奉安されていた。辨財天は水と豊かな実りをつかさどるインド・サラスヴァティー河の女神で、仏教と共に日本に伝来した。八本の腕を持ち、手には弓矢などを執るが、これは『金光明最勝王経』『大辨才天女品』の記述による。

池や河川とともにまつられ、水流の美しい響きにあなで「妙音天」とも称し、音楽や知識、音楽や芸能の神として信仰される。また十五人の童子を使つてさまざまな利益をもたらす福徳神である。福徳円満、千宝天授、安座、学業成就と所願に応じて利益を授ける。

辨財天ご真言

おん そらそばていえい そわか

Benzaitendō (Sarasvati Hall)

This hall was erected in the 18th century (Edo era). It enshrines a statue of Benzaiten (Skt. Sarasvatī) which was donated by the wife of Date Tsunamura, a lord of the Sendai clan and wooden statues of Jūgo-dōji (Fifteen Attendants). The National Treasure *Kōmokuō-shōshō-ōkyō* (Golden Light Sutra) written in gold on dark blue paper in the form of pagoda mandalas, currently kept in the Sankizō (Museum), was originally housed in this hall.

Benzaiten (Skt. Sarasvatī), an Indian goddess of water and rich harvests, was introduced into Japan with Buddhism. She has eight arms holding different items in each hand, described in the Golden Light Sutra.

Benzaiten is enshrined near ponds or rivers and worshipped as a deity of eloquence and music associated with the beautiful sounds of running water. It is believed that through her Fifteen Attendants, Benzaiten brings happiness and virtue.

弁財天堂



さて、いよいよ金色堂へと進む



正面が金色堂新覆堂









年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和39.10	1964	中尊寺金色堂 新覆堂	岩手県 平泉町	昭和39.10~40.09	松浦弘二	山下建築事務所	松井建設	RC造















芭蕉翁句碑



経蔵/重要文化財



重要文化財

中尊寺経蔵

創建時の古材を用いて再建されたものであり、堂内には平安時代の彩色文様が確認できる。国内最古の保安三年（一一二二）棟札が伝えられる。本尊の騎師文殊菩薩と四眷属像（重文）、堂内具（国宝）、紺紙金字一切経（国宝）等の経典類は、現在讚衡蔵に安置・収蔵されている。

中尊寺経蔵 CHUSONJI KYOZO

SUTRA REPOSITORY OF THE CHUSONJI TEMPLE (Important Cultural Property)

This is a hall to accommodate sutras belonging to Chusonji Temple. In 1337 (Kamakura period), the Repository on the mountain summit was badly burned. However, it was saved from complete destruction and restored, using old timber salvaged from the original building. Colored patterns from the Heian period can be found inside. The oldest ridge tag dating back to 1122 (Heian period) is stored here. The principal Buddha image, a mounted statue of Monju Bosatsu (the Buddha of Learning) with four attendants (designated as an Important Cultural Property); as well as the principal Buddha image for use in this hall (designated as National Treasures) and sutras such as the blue and gold Buddhist

右手前方は旧覆堂



前方は天満宮





熊布緒



明山 天満宮

此の天満宮、菅原道真公の十四世孫菅原為規公、勅命により奥平泉へ下向逗留の時、出生した乙王丸（後の徳和尚）に京都北野天満宮を勧請せしめ、天満大自在天神の御真影を世音菩薩にお祀りしす。

又此の霊地は昔、陸奥守の衣の袂を守護し世の平安を祈願するために鎮守府の弓矢を納めて天神地祇をお祀り、関の神社を造営した地で、

天神様の名を祀り、菅原道真公は、学問、文学、書道、神様として世に広く崇敬され、毎月二十五日とほめており、

菅公御詠、東風ふりぬる花の香を、

上ノ山

明山

熊布緒

田舎郡

下ノ山

熊布緒

小村

菅原

菅原

菅原

菅原

菅原

明山

熊布緒

菅原

これが旧覆堂



芭蕉翁像



旧覆堂/重要文化財



注意

重要文化財

金色堂覆堂

正応元年（一二八八）の棟札より、鎌倉幕府によって金色堂の修復が行われ、覆堂が建てられたと考えられてきた。近年の調査では、金色堂建立後五十年ほどで簡素な覆屋根がかけられ、増改築を経て室町時代中期（一六世紀）に現在の形になったものと見なされる。昭和三八年（一九六三）、新覆堂の建築にともないこの場所に移築された。

金色堂覆堂 KONJIKIDO OOIDO

FORMER SHELTER HALL OF KONJIKIDO (GOLDEN HALL) (Important Cultural Property)

This is a temple hall built in order to protect the Konjikido (Golden Hall) from the wind and rain. Konjikido was restored in 1288 on the order of the Kamakura Shogunate. It was assumed that this Shelter Hall was built at that time, from the evidence of the date on a ridge tag. However, recent studies have shown that the hall was covered with a simple roof around fifty years after the construction of the Konjikido Temple (1124), and that after several extensions and reconstructions, it took its present shape in the middle of the Muromachi period (16th century). Due to the construction of a new Shelter Hall in 1963 (38th year of the Showa period), the older one was transferred to this location.

旧覆堂内部





ここは西谷坊



釈迦堂



白山神社へ





能舞台(神楽殿)/重要文化財





向こうに見えるのは白山神社社殿







白山神社社殿



白山神社由緒

仁明天皇の御代嘉祥三年(八五〇)中尊寺の
開祖である慈覚大師が加賀の白山をこの地に
勧請し自らは十一面観音を作て中尊寺の
鎮守白山権現と号された。配佛としては、樋
爪五郎季衡の持佛で運慶作の正観音と源
義經の持佛で毘沙門天が配索されてありましたが
嘉永二年正月八日(一八四九)の火災で焼失した。
現在ある能舞台は嘉永六年(一八五三年)伊達藩
主伊達慶邦朝臣から再建奉納されたものであり
ます。(平成十五年国の重要文化財指定)
現行の能舞は、天正十九年時の関白豊臣秀次と
藩主伊達政宗両公が当社参拝の節観覧に
供し以来続行今日に到っている。明治九年秋には
明治天皇が御東巡の折りに当社に御臨幸あら
せられ、古式及び能舞を天覧あらせられました。

平成十五年 七月

謹記





茅の輪くぐり



茅ちの輪くぐりと人形ひとかた祈願

茅ちの輪くぐりは古来より日本に伝わる罪・けがれを被かつて清浄な心こころに生まれ変わろうとする禊祓みそぎ神事かみことに端はを発はしています。

それをいつの頃か神社の神事としてとり行なわれるようになりました。奉道ほうどう(産道)を通り茅ちの輪わをくぐる事は、生まれたばかりの純粹無垢じゆんじゆくで罪・けがれの無い赤ん坊あかぼこの様に清浄な心こころに生まれ変わろうという事を意図いずしています。また、茅ちの輪くぐりの神事かみことにつきものとして人形ひとかた祈願かみことがあります。茅ちの輪わをくぐり人形ひとかたに願ねがいをたくしてお祈り致いたしましょう。

茅ちの輪わは正面より一座くぐり奉拝ほうがい後、左右どちらかに抜け、お戻りください。

白山神社社務所



毛越寺は奥州藤原氏二代基衡の建立です。

『吾妻鏡』によれば全盛期には、金堂(本堂)円隆寺を中心に堂塔四十余宇、禅坊五百余宇が建ちならび、伽藍の荘厳さは吾朝無双と評されました。

円隆寺、講堂、常行堂、法華堂などからなる伽藍の背後には塔山がそびえ、前面には大泉が池が広がります。

当時の建物はすべてを失っていますが、基壇や礎石は良好に跡をとどめ伽藍の旧状をうかがい知ることができることから、特別史跡に指定されています。

大泉が池を中心とする毛越寺庭園は、国を代表する平安時代の「浄土庭園」として名高く、特別名勝に指定されています。

毛越寺境内 附鎮守社跡

もうつうじけいだい つけたりちんじゅしゃあと

Mōtsū-ji Temple Precinct with Chinjusha (Tutelary Shrine) Remains

毛越寺庭園

もうつうじていえん

Mōtsū-ji Temple Garden

Mōtsū-ji Temple was commissioned by the second Ōshu Fujiwara lord, Motohira.

In its heyday (according to Azuma Kagami, the official history of the Kamakura Shogunate), in addition to the main hall Enryū-ji, there were forty temples and pagodas and over five hundred priests' residences and it was said that the magnificence of its halls was unparalleled.

Tōyama (Pagoda Mountain) rises behind the remains of the 12th century temple complex of Enryū-ji, Kōdō, Jōgyōdō and Hokkedō while in front is the Ōzumigaikē (Great Spring Pond).

The original buildings have all been lost but their earthen platforms and foundation stones have been preserved in good condition so that it is possible to imagine how the halls must have looked in the 12th century which is why the site has been designated as a Special Historic Site.

Mōtsū-ji Temple Garden, with Ōzumigaikē in the center, is very well known in Japan as a representative of a Heian period Jōdo Teien (Pure Land Garden) and thus has been designated a Special Place of Scenic Beauty.



ここが毛越寺入口(山門)





毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図

毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図

毛越寺伽藍復原図

毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図
毛越寺伽藍復原図

左下が南大門でこの南大門跡から時計回りに浄土式庭園を巡って見る



本堂/設計は藤島亥治郎







倉庫か



さて、ここが南大門跡



礎石が残る/ここから正面の大泉ヶ池に浮かぶ中島、さらに対岸の金堂円隆寺跡へと橋が架けられていた



右手を見ると出島と池中立石が見える



さて、時計回りに庭園を巡って見る/少し先に築山がある





これは開山堂





開山堂

毛越寺を開かれた慈覚大師円仁(794~864)
をお祀りする堂である。慈覚大師は、天台宗
第三代座主となり生前の業績を称えられ、日本
初の大師号を授けられた。在唐九年間の紀行
「入唐求法巡礼行記」はマルコポーロの「東
方見聞録」、玄奘三蔵の「西域記」とともに、
三大旅行記として高く評価されている。

Kaisandō (Founder's Hall)

Dedicated to Mōtsū-ji's purported founder Jikaku Daishi Ennin (794-864), third head abbot of the Tendai sect and the first recipient of the title 'Daishi' ('great teacher'). His diary of his nine-year stay in Tang dynasty China, *Record of a Pilgrimage to China in Search of the Law*, is ranked alongside Marco Polo's *Il Milione (The Travels of Marco Polo)* and the Chinese *Journey to the West* as among the world's great travelogues.





前方の標柱は嘉祥寺跡を示す



嘉祥寺跡

「吾妻鏡」によると二代基衡公が工を始め三代秀衡公が完成させた御堂で、その前身は慈覚大師開山までさかのぼり、寺名は開山時の年号に由来する。本尊は丈六の薬師如来。建物の規模は、正面7間約27.9m、側面6間約22.5mで左右に廊があり、金堂円隆寺とほぼ同じである。堂内の壁や扉には法華経の教えが画かれていたという。

Kashō-ji Temple Site

According to *Azuma Kagami*, the official history of the Kamakura shōgunate, Kashō-ji was begun by the second Fujiwara lord Motoshira and completed by his son Hidehira. However, based on evidence, including its name, the hall is thought to date from the Kashō era (848-851) when Mōtō-ji was founded by Jikaku Daishi Ennin. The principal image was Yakushi Nyorai (the Buddha of Healing). The statue was about 4.8m tall (*jōzoku*). The hall was almost as large as Mōtō-ji's main hall Kōrō Enryū-ji, being 7 bays (22.5m) wide and 6 bays (27.9m) deep with long corridors extending forward on either side. Images illustrating the meaning of the Lotus Sutra were painted on the interior walls and doors.

標柱に嘉祥寺跡とある



礎石が残っている



右手後方から見る



右手の木々の下に経楼跡の標柱が立つ/対して左手の木々の辺りは鐘楼跡



これは講堂跡の標柱



講堂跡

本尊は胎金両部大日如来。仏法を説き
仏法を聴く堂舎であった。また、灌頂と
いう密教儀式を行う奥羽の灌室であつた
という。正面5間19.1m、側面4間15.1m
の建物で礎石34個が完存する。嘉禄の火
災後再建、天正元年(1573)の戦による火
災で焼亡。



Lecture Hall Site

The principal image of this hall was the cosmic Buddha Dainichi Nyorai (*Vairocana*). In addition to lectures on Buddhist law and principles, the esoteric Buddhist *abhiseka* initiation ritual for Tōhoku (north-eastern Japan) was held here. 34 foundation stones remain from this hall which was 5 bays (19.1m) wide and 4 bays (15.1m) deep. The original building was reconstructed once but destroyed again by fire in 1573.

同じく礎石が残っている



正面は金堂円隆寺跡





こん どう えん・りゅう じ
金堂円隆寺跡

もとひら
 基衡公建立の勅願寺。鎌倉幕府の公文書
 である「吾妻鏡」の中では「吾朝無双」と称
 えられるほど万宝を尽くしてつくられた建
 物であった。本尊は、雲慶作の丈六の薬師
 如来。毛越寺の中心的な堂で、東西に廊が
 出て南に折れ、その先端には鐘楼、経楼が
 あった。嘉禄二年（1226）火災で焼失した。

Kondō Enryū-ji Temple Site (former Main Hall)

A temple of imperial vow (for the salvation and peace of emperor and nation) commissioned by the second Fujiwara lord Motohira. *Azuma Kagami*, the official history of the Kamakura shōgunate, records that Kondō Enryū-ji was 'unparalleled in all the land'. The principal image was a statue of Yakushi Nyorai (the Buddha of Healing) by the famous sculptor Unkei. It was about 4.8m tall (*Jōrūku*). Mōtsū-ji's main hall faced south and corridors on either side also turned to extend in the same direction. At the end of one was a bellry and at the other, a sutra repository. Kondō Enryū-ji was destroyed by fire in 1226.

同じく礎石が残っている



大金堂円隆寺跡と記された標柱が立つ





さて、これは遣水





や り み づ
遣 水

この遣水は、庭園の発掘調査中に往時の姿のままに見えられたもので、遣水の遺構は奈良の宮跡庭園を除いては例が無く、平安時代の遺構としては唯一のものである。遣水は池に水を取り入る水路であり、玉石を底に敷きつめ、流れには水越し、水切りの石、その他水の曲がり角や池への注き口に石組を配するなど平安時代の指導書「作庭記」の様式を余すところなく伝えている。その美しい流れとせせらぎは浄土庭園に風雅な趣を添えており、「曲水の宴」の舞台ともなる。

Yarimizu (Feeder Stream)

Unearthed in pristine condition during excavation and research of the temple garden from 1955-1956. The only extant Heian era (794-1185) feeder stream site in Japan; one other, discovered at the site of the Imperial residence in Nara, is from an earlier era. The stream was designed in the style prescribed by the 11th century *Sakuteki* / (Treatise on Garden Making) to replenish the water of the pond. Haunted river stones line the bottom. The course of the stream is punctuated by curves and carefully placed obstacles that direct and divert the flow of the water as it winds towards the rock formation at the edge of the pond. Every spring, this beautiful stream which inspires such responses to the *Manyō* (Poets' Land) garden, is the site of a costumed poetry festival called *Gaokusai no En*.

山水を池に取り入れるための水路





現在の鐘楼堂





しょう ろう どう
鐘楼堂

現在の鐘は昭和五十年、人間国宝香取正彦氏の作で、天台座主山田恵諦大僧正の銘が刻まれています。姿形は、平等院風を思わせ、美しい音色を響かせています。

Belfry

Rebuilt in 1975 by Living National Treasure Katori Mesahiko and signed by Tendai sect abbot Yamada Etai. The style of the belfry is reminiscent of that of the Byōdō-in of Uji. The bell rings with a deep, beautiful tone.



地藏菩薩



地藏菩薩

地藏菩薩は彌勒尊の胎化(胎菩薩)である。菩薩十尊、地持二十八尊というご称号がある仏さまで、手に持つ宝珠は胎藏の玉ともいわれ、このお地蔵さまを護衛すれば、悪い事がおのまきになるという霊薬である。

Jizo Bosatsu

Jizo Bosatsu (Kwagarhwa) is the胎蔵菩薩 of all Buddhas. It is said that the jewel in the Jizo Bosatsu's hand will grant wishes to those who believe in the Buddha's power.



正面は現常行堂



江戸時代中期の再建











さて、正面の標柱は常行堂跡を示す



正面奥の標柱は法華堂跡を示す



じょうぎょう どう ほっけ どう
常行堂跡・法華堂跡

慶長二年(1597)野火のため焼亡。

向かって右が常行堂跡で5間15.4m方形、礎石の残る左が法華堂跡で5間11.8m方形であった。常行堂の礎石は現常行堂の礎石に使われたのか残っていないが根石があり、存在が確認された。両堂はそれぞれ常行三昧、法華三昧を修法する堂宇であり渡廊で結ばれていた。



Former Circumambulation and Lotus Hall Sites

Facing the site, on the right was the former Circumambulation Hall measuring 5 bays (15.4m) on each side. The slightly smaller Lotus Hall was also 5 bays (11.8m) square. The two halls were connected by a corridor. The foundation stones of the Lotus Hall survive *in situ*, but there are only traces of the foundations of the Circumambulation

常行堂跡の標柱



法華堂跡の標柱



鐘楼堂(左)と常行堂(右)を見る



東門跡



東門跡
往時は各地等が境内の東端、尾根を隔
んでいた。東門から境内を出ると鎌倉在
王殿や奉還(午曲の駐車場)のある御堂が
現れる。東門から東石堤が御堂寺と御
を越る奥庭に続いていた。

Eastern Gate Site
In the 12th century, an earthen wall
surrounded the site and the complex of
Minato Shrine. Situated to the eastern end
was a residence (parking area for the gods)
and Hachiroji Shrine. To the south
was the gate to the eastern
temple. The site of the gate is
marked by the stone circle in the
middle of the path.

東門跡

往時は築地堀が境内の東端、南端を囲んでいた。東門から境内を出ると観自在王院や車宿(牛車の駐車場)のある街路が現れる。東門から敷石道が圓隆寺と鐘樓を結ぶ東翼廊に続いていた。

Eastern Gate Site

In the 12th century, an earthen wall delineated the south and east borders of Mōtsū-ji precinct. Beyond the eastern wall was a road with a parking area for ox carts, and beyond that, Kanzaō-in Temple. A stone path connected the gate to the eastern corridor that led from Mōtsū-ji's main hall Kondō Enryū-ji to the bellry.

ここは洲浜



洲浜

海の前から大きく突き出した洲浜は、
ひろびろとした海岸の砂州を表現してお
り、水位の暴落に応じてその姿を変化さ
せる。ゆったりとしたその姿は、出典と
は対照的な景観である。

Beach

This peninsula sticks out to the eastern
edge of Grand as the Great Sand
Point. It resembles an open sandy beach
in its form, which changes with the
ebb and flow of the water. It is stark
contrast to the rugged rock formation
there.

洲浜から庭園全体を見る(東から西の方向)/池は残念ながら雪に覆われている



東門の更に東側(柵の外になる)には観自在王院跡が展開する



こちらが観自在王院跡のようだ(説明板も見える)



さて、ここは宝物館





ほう もつ かん
宝 物 館

昭和五十二年に鉄筋コンクリートで建てられました。毛越寺一山に伝わる平安期の仏像、書籍、工芸品、発掘遺品、調査資料、延年の舞用具などを陳列しています。旧宝物館は開山堂に改造されました。

Museum

Built in 1977 of reinforced concrete. This museum displays Buddhist statues, documents, crafts, archaeological relics, and survey materials, as well as equipment and costumes for the Ennen no Mai longevity rites, handed down through the generations, by the monks of Mōtsū-ji Temple. The previous museum has been converted into the Kaizandō Hall.



その他の遺構

無量光院跡

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%84%A1%E9%87%8F%E5%85%89%E9%99%A2%E8%B7%A1>

観自在王院跡

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A6%B3%E8%87%AA%E5%9C%A8%E7%8E%8B%E9%99%A2%E8%B7%A1>

金鷄山

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%87%91%E9%B6%8F%E5%B1%B1>

柳之御所遺跡

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9F%B3%E4%B9%8B%E5%BE%A1%E6%89%80%E9%81%BA%E8%B7%A1>

白鳥館遺跡

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%99%BD%E9%B3%A5%E8%88%98%E9%81%BA%E8%B7%A1>

長者ヶ原廃寺跡

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%95%B7%E8%80%85%E3%83%B6%E5%8E%9F%E5%BB%83%E5%AF%BA%E8%B7%A1>

骨寺村莊園遺跡

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AA%A8%E5%AF%BA%E6%9D%91%E8%8D%98%E5%9C%92%E9%81%BA%E8%B7%A1>

高館義経堂

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A1%A3%E5%B7%9D%E9%A4%A8>

伽羅御所

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%BD%E7%BE%85%E5%BE%A1%E6%89%80>

参考ホームページ

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E6%B3%89>

<http://www.iwatabi.net/morioka/hiraizumi.html>

<http://homepage3.nifty.com/otakeya/iwate/hiraizumimati.htm>

<http://homepage3.nifty.com/otakeya/iwate/hiraizumimati.htm#takadate>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/tokusyuu.fujiwarasi.html>